



履修履歴活用コンソーシアム～「学び」と「働く」の架け橋に～

2019年新卒採用活動における 履修履歴活用実態調査

2018年9月

アンケート概要

このたび履修履歴活用コンソーシアムでは、2019年新卒採用における履修履歴活用実態（新卒採用における企業の履修履歴の取得・活用状況）調査を、コンソーシアム加盟企業が運営する就職サイトの会員を対象に本年の6月中旬から7月中旬にかけて実施いたしました。

■ 調査実施者：履修履歴活用コンソーシアム <http://risyu-katsu.jp/>

■ 実施期間：2018年6月15日～7月15日

■ 調査対象：2019年卒業予定の全国大学4年生及び院2年生

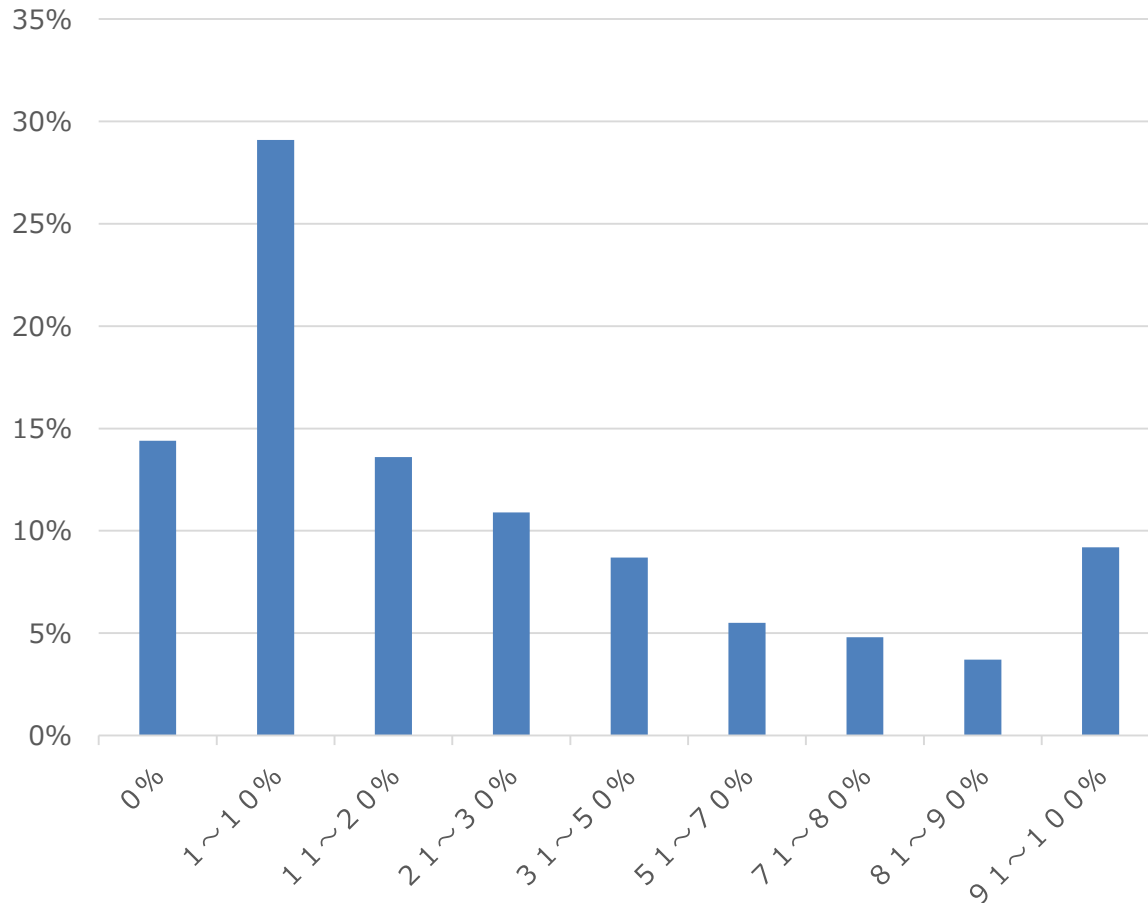
（コンソーシアム加盟各社が運営する就職サイト会員学生）

■ 調査方法：Eメールにてアンケートへの回答を依頼。学生はWeb上のアンケートフォームより入力

■ 回答数：2,141名



質問1：応募時（本エントリー時）に、履修履歴の提出を求められた企業の割合を教えてください。



回答の選択肢	回答数	
0%	14.4%	309
1~10%	29.1%	623
11~20%	13.6%	292
21~30%	10.9%	234
31~50%	8.7%	186
51~70%	5.5%	118
71~80%	4.8%	102
81~90%	3.7%	79
91~100%	9.2%	198
合計		2141



質問2：履修履歴の提出を、選考の早期段階で求めている企業名を教えてください。

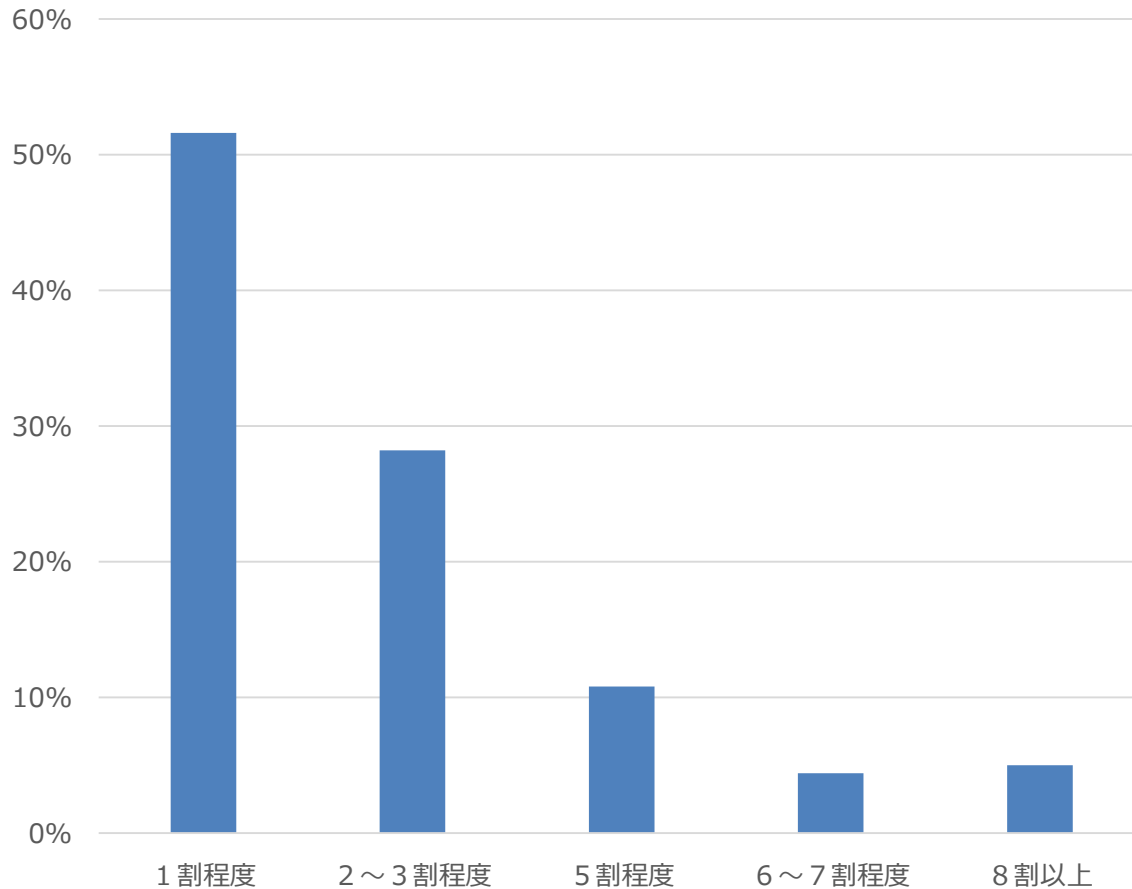
- A) 応募時に提出を求められた企業
- B) 応募時ではないが、1次選考までに提出を求められた企業

回答結果は下記W e b サイトにて公開しております

<http://risyu-katsu.jp/reports2019company/>



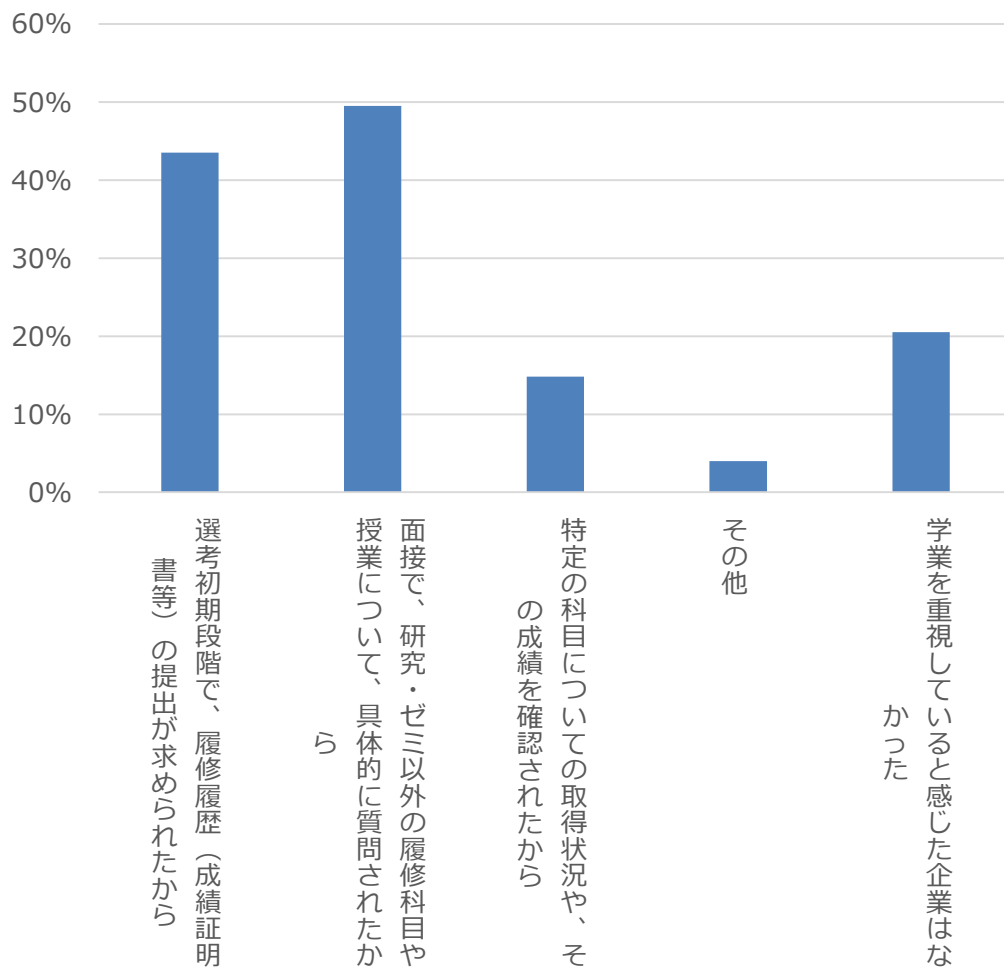
質問3:採用選考において、学業を重視していると感じた企業名の割合を教えてください。



回答の選択肢	回答数	
	割合	回答数
1割程度	51.6%	1104
2~3割程度	28.2%	604
5割程度	10.8%	231
6~7割程度	4.4%	95
8割以上	5.0%	107
合計		2141



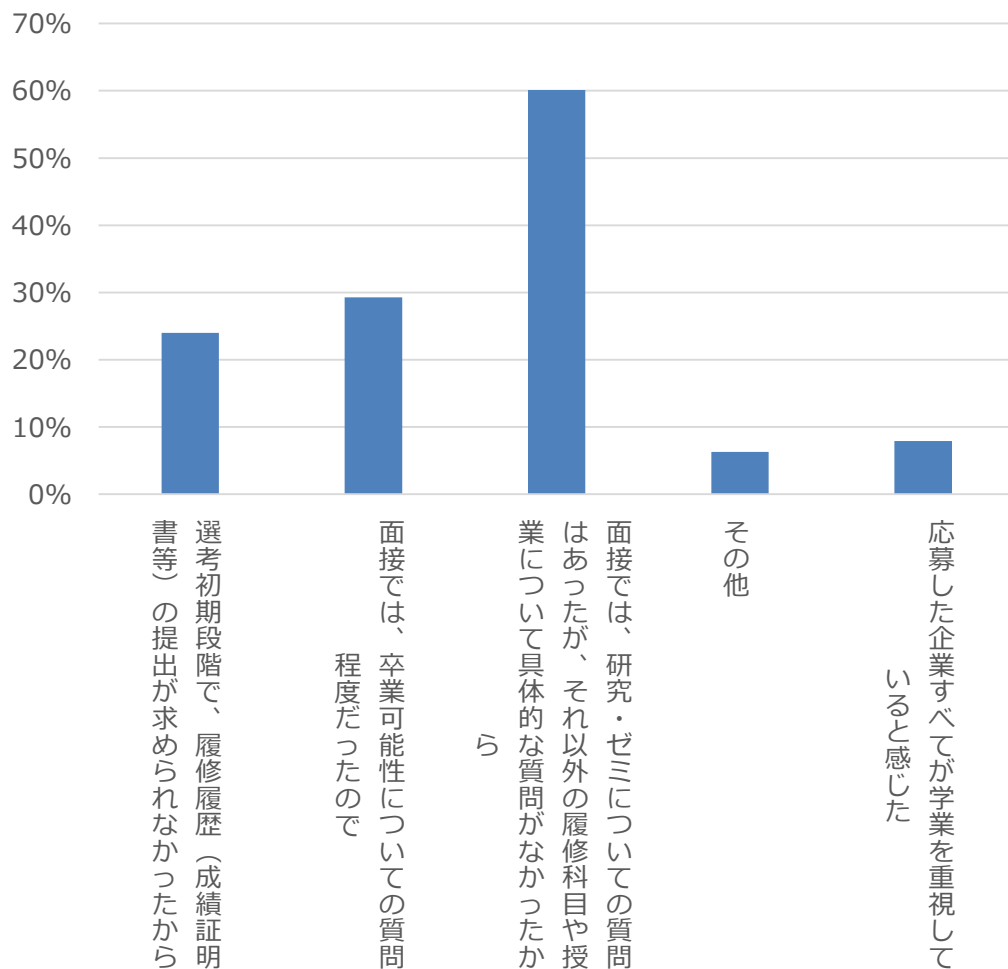
質問4: 学業を重視していると感じた理由を教えてください教えてください。 (複数回答可)



回答の選択肢	回答数	
選考初期段階で、履修履歴（成績証明書等）の提出が求められたから	43.5%	931
面接で、研究・ゼミ以外の履修科目や授業について、具体的に質問されたから	49.5%	1060
特定の科目についての取得状況や、その成績を確認されたから	14.8%	316
その他	4.0%	86
学業を重視していると感じた企業はなかった	20.5%	439
合計		2141



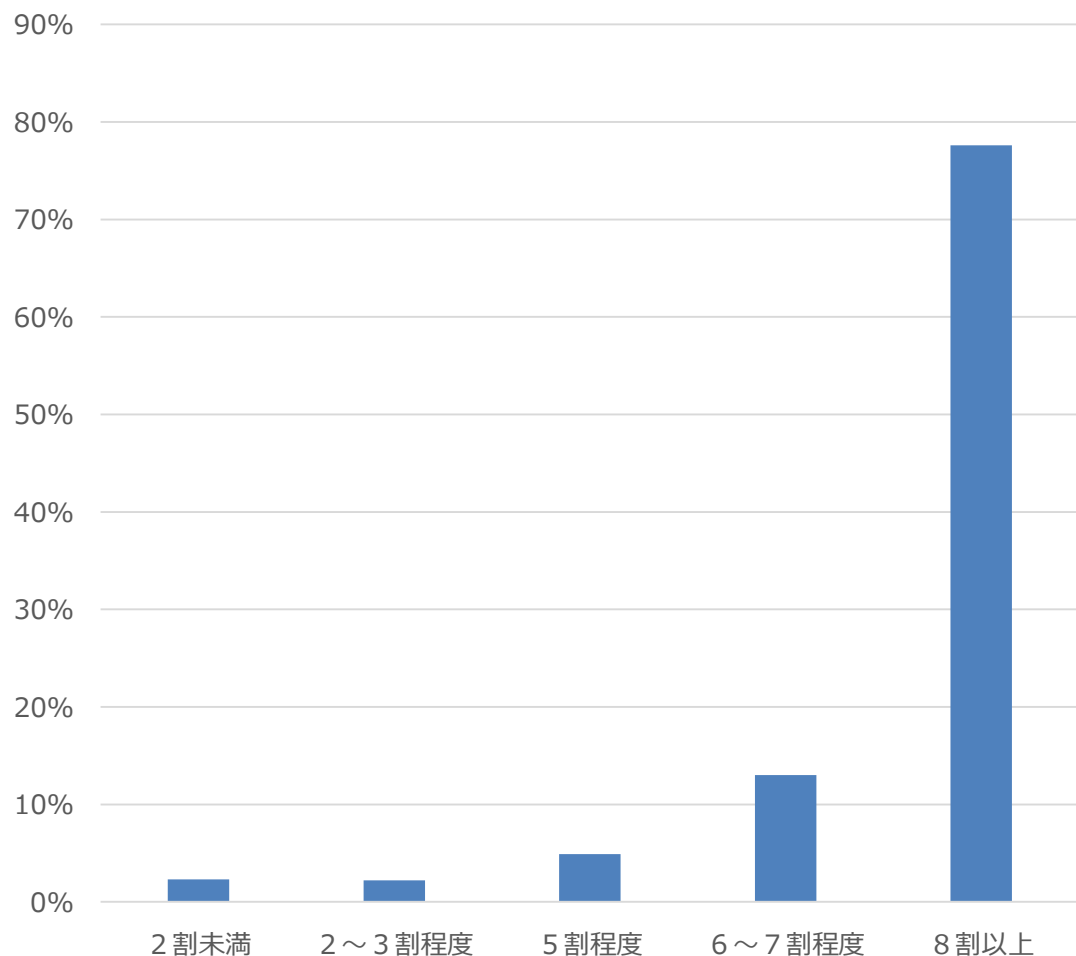
質問5: 学業を重視していると感じなかった理由を教えてください (複数回答可)



回答の選択肢	回答数	
選考初期段階で、履修履歴（成績証明書等）の提出が求められなかったから	24.0%	513
面接では、卒業可能性についての質問程度だったので	29.3%	628
面接では、研究・ゼミについての質問はあったが、それ以外の履修科目や授業について具体的な質問がなかったから	60.1%	1287
その他	6.3%	134
応募した企業すべてが学業を重視していると感じた	7.9%	169
合計		2141



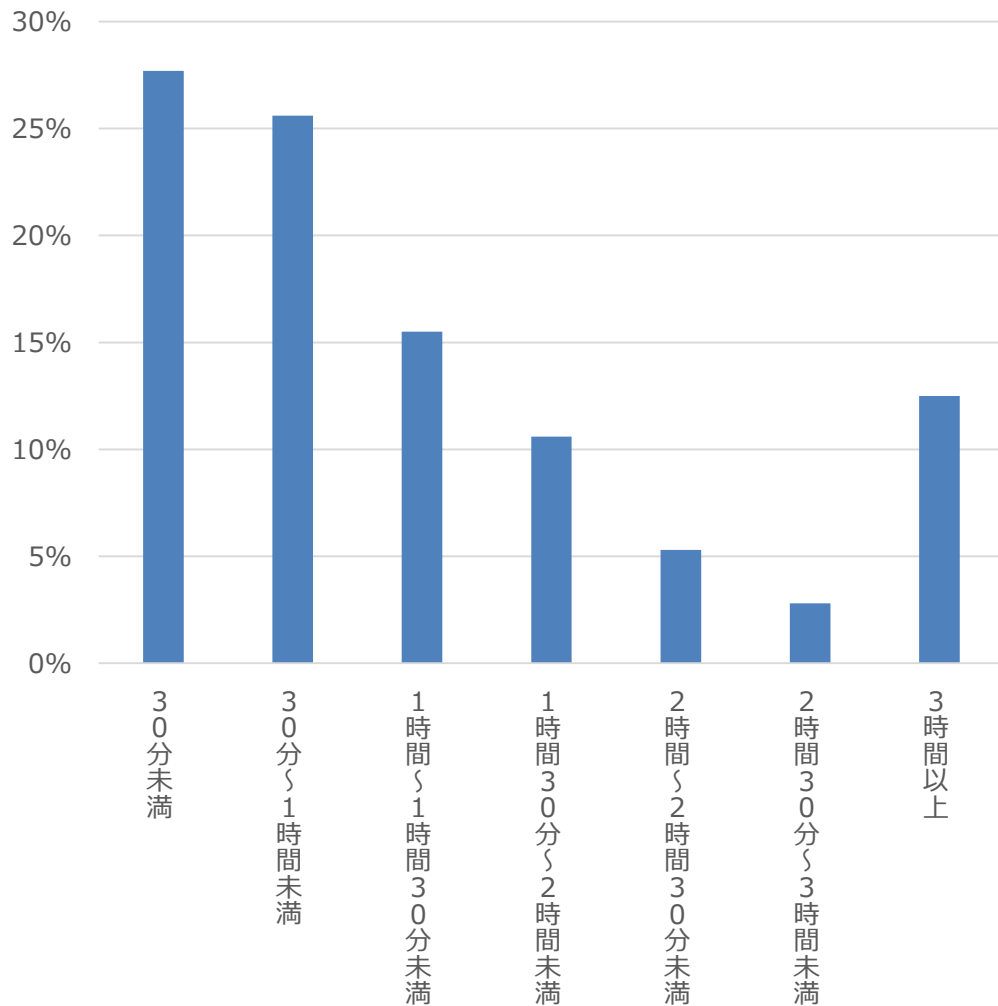
質問6:授業にはどの程度出席していましたか



回答の選択肢	回答数	
	割合	人数
2割未満	2.3%	50
2~3割程度	2.2%	47
5割程度	4.9%	105
6~7割程度	13.0%	278
8割以上	77.6%	1661
合計		2141



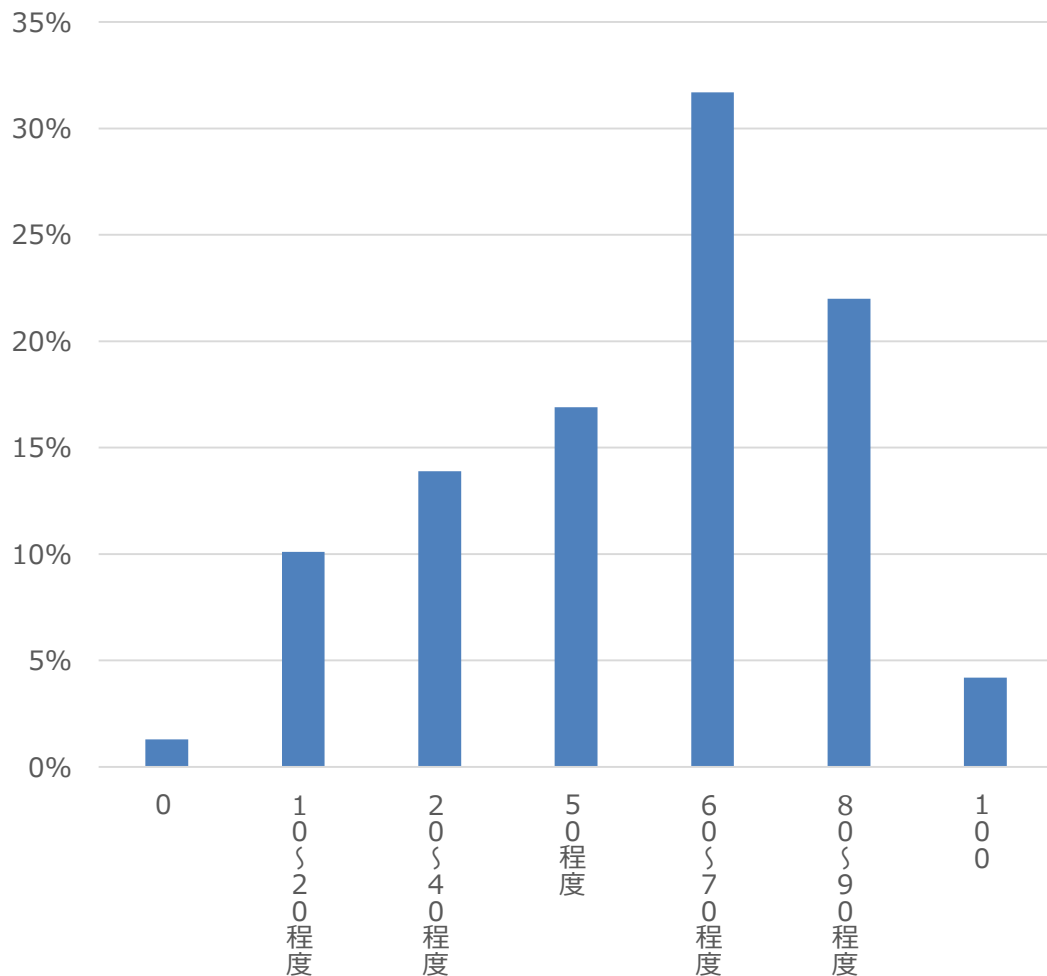
質問7:「授業以外での自習（予習や復習、研究など）」について、お聞かせください。
一日の平均時間はどれくらいですか（大学内外あわせた時間を教えてください）



回答の選択肢	回答数	
30分未満	27.7%	593
30分〜1時間未満	25.6%	548
1時間〜1時間30分未満	15.5%	332
1時間30分〜2時間未満	10.6%	226
2時間〜2時間30分未満	5.3%	113
2時間30分〜3時間未満	2.8%	61
3時間以上	12.5%	268
合計		2141



質問8: 学業には、どの程度力を入れて取り組んできましたか (ご自身の中で最大限の力の入れ具合を「100」としてご回答ください)

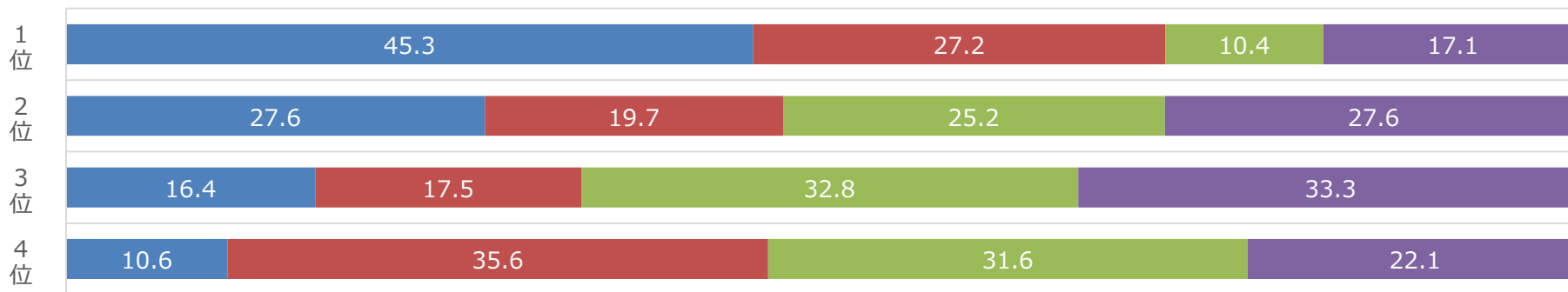


回答の選択肢	回答数	
0	1.3%	27
10~20程度	10.1%	216
20~40程度	13.9%	298
50程度	16.9%	361
60~70程度	31.7%	679
80~90程度	22.0%	471
100	4.2%	89
合計		2141



質問9: 次のそれぞれの領域は、あなたの学生生活の中でどのくらい重要ですか。1位から4位の順位をつけてください

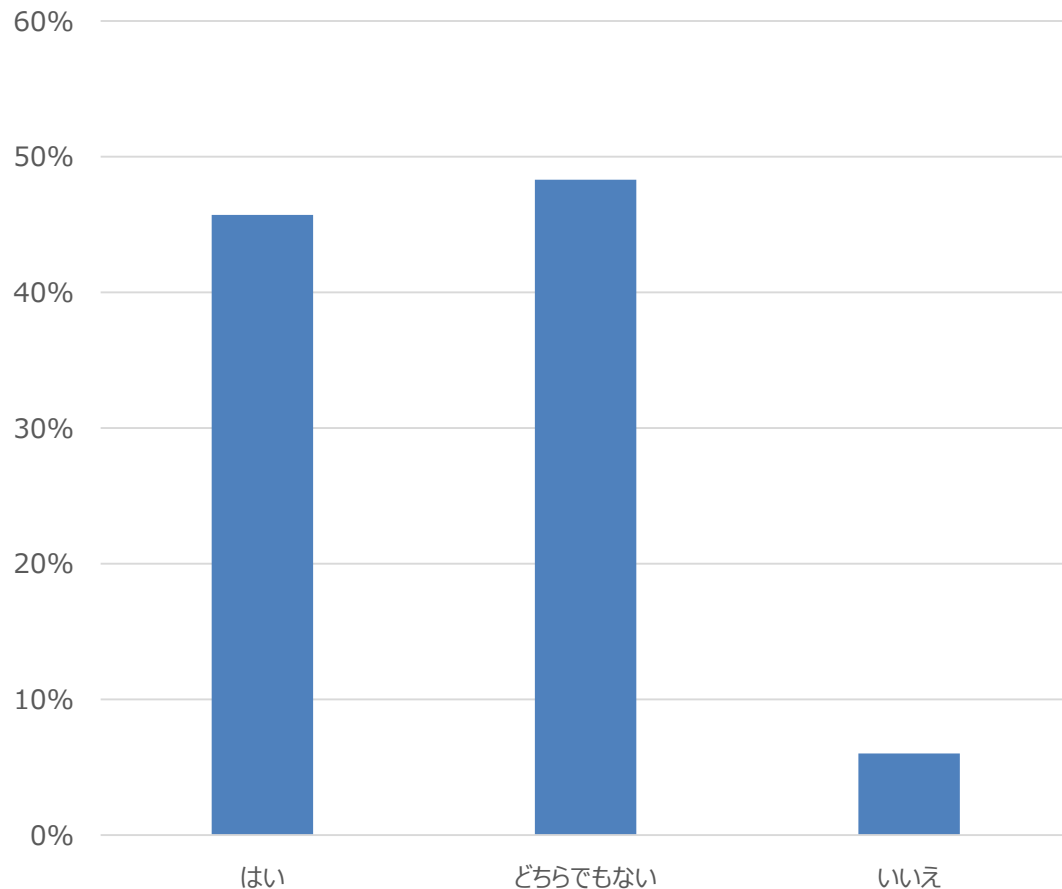
■ 授業・ゼミなどの学業 ■ 部活やサークル ■ アルバイト ■ 学外での活動（遊びも含む）



	1位		2位		3位		4位	
授業・ゼミなどの学業	45.3%	970	27.6%	591	16.4%	352	10.6%	228
部活やサークル	27.2%	582	19.7%	421	17.5%	375	35.6%	763
アルバイト	10.4%	223	25.2%	539	32.8%	702	31.6%	677
学外での活動（遊びも含む）	17.1%	366	27.6%	590	33.3%	712	22.1%	473



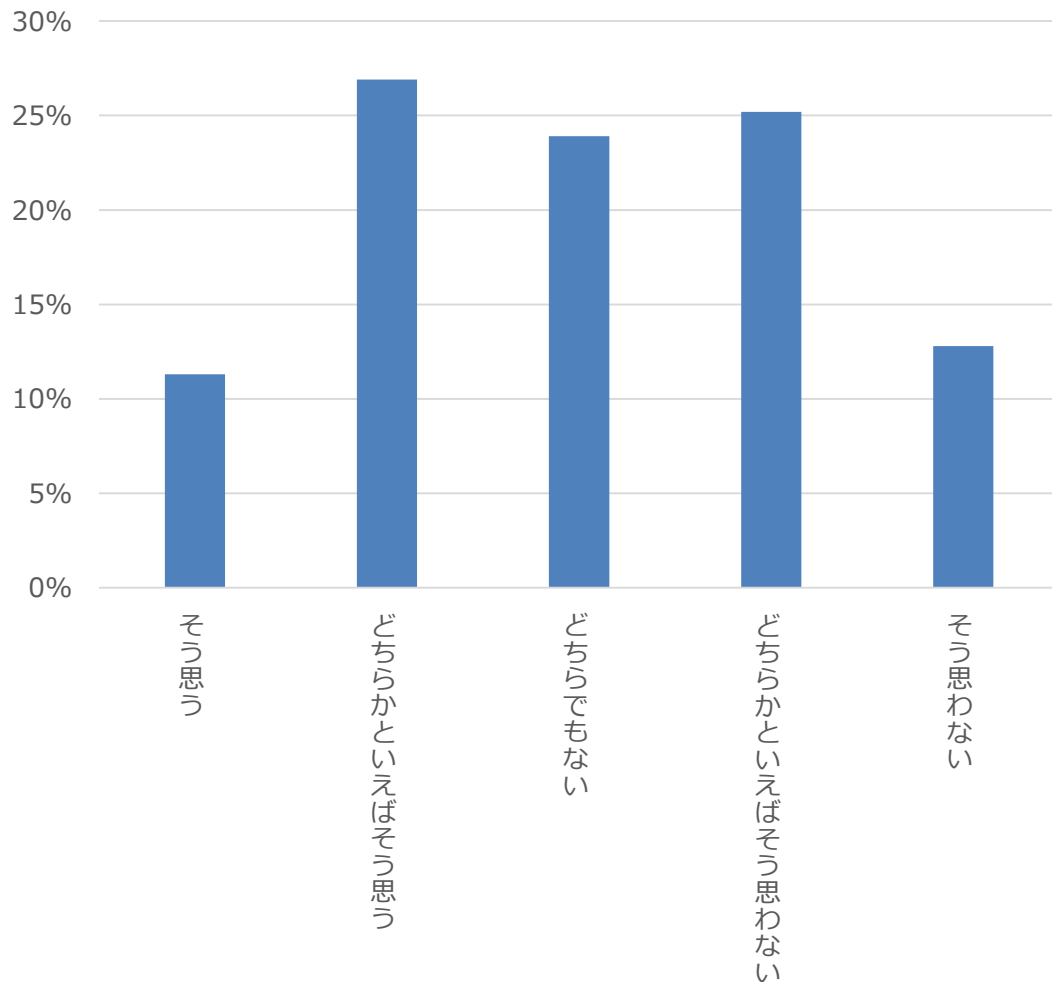
質問10:面接で、学業のことを聞いてくれる企業の印象は良いですか？



回答の選択肢	回答数	
	割合	人数
はい	45.7%	978
どちらでもない	48.3%	1034
いいえ	6.0%	129
合計		2141



質問11:採用選考において、企業は学業を軽視していると思いますか？



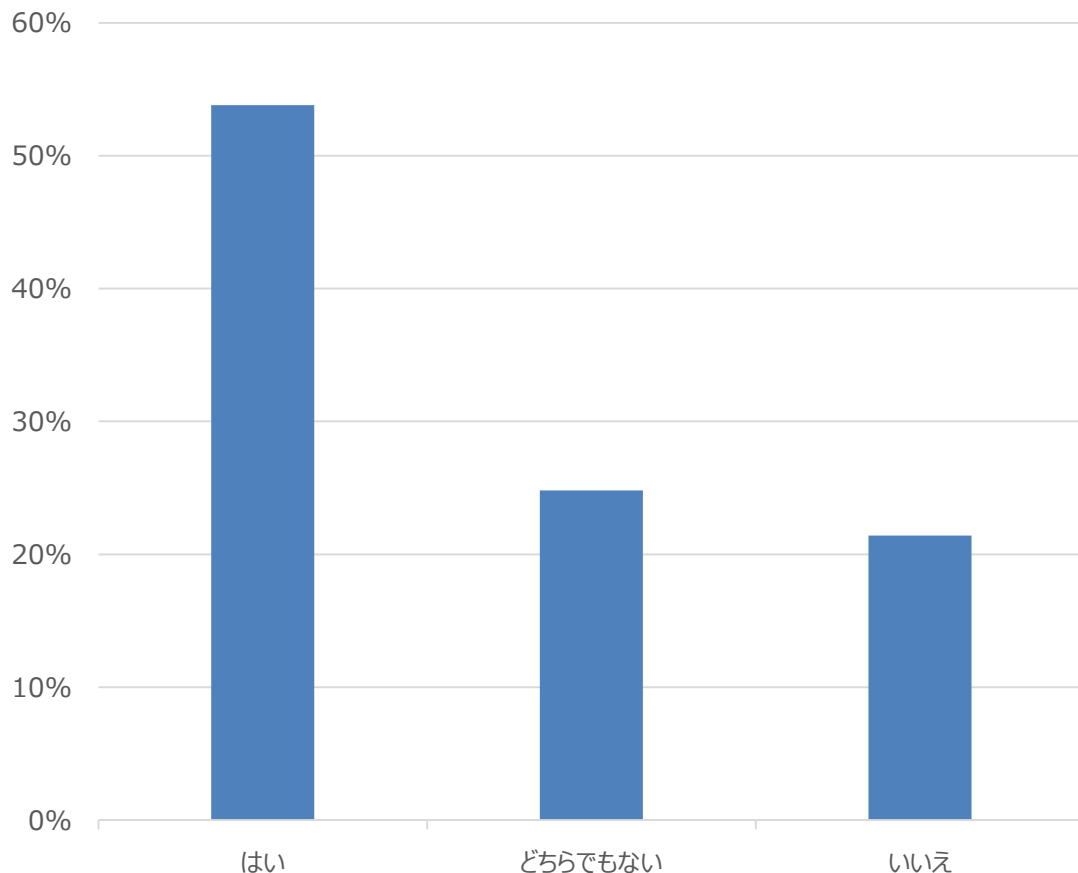
回答の選択肢	回答数	
そう思う	11.3%	242
どちらかといえばそう思う	26.9%	576
どちらでもない	23.9%	511
どちらかといえばそう思わない	25.2%	539
そう思わない	12.8%	273
合計		2141



質問12:企業が面接で、学業に関する質問を積極的にすると、学生の学業への向き合い方は変わりますか？

※学業に関する質問の例

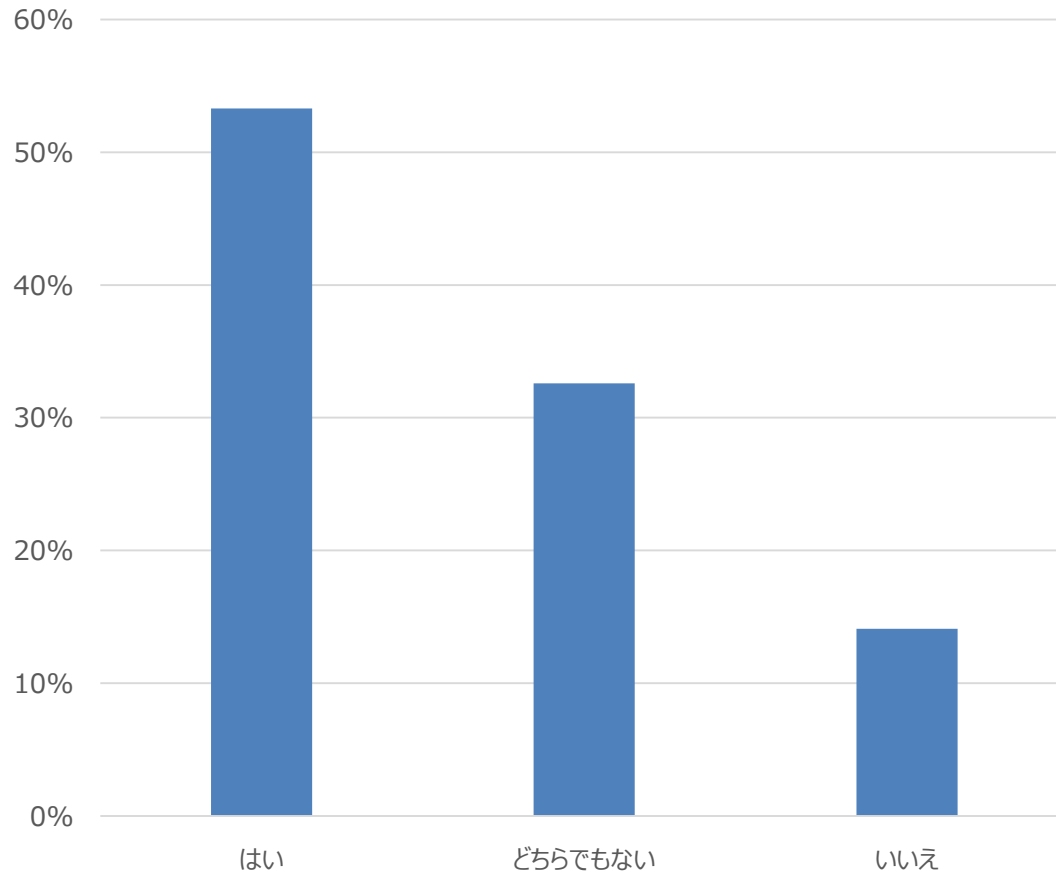
「力を入れた授業、興味を持った授業等」「具体的な授業の内容」「学業と学業外のバランスやその理由」



回答の選択肢	回答数	
はい	53.8%	1151
どちらでもない	24.8%	532
いいえ	21.4%	458
合計		2141



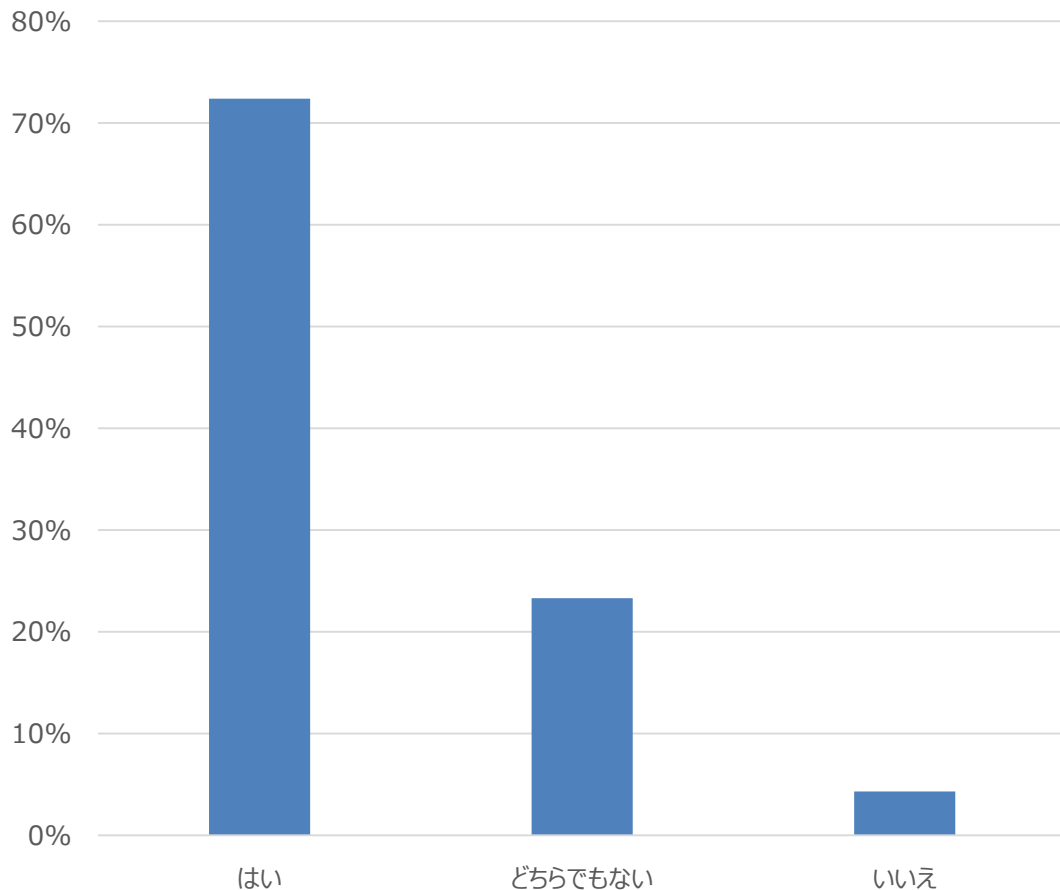
質問13: 学業に力を入れることは、就職活動で重要だと思いますか？



回答の選択肢	回答数	
	割合	回答数
はい	53.3%	1142
どちらでもない	32.6%	698
いいえ	14.1%	301
合計		2141



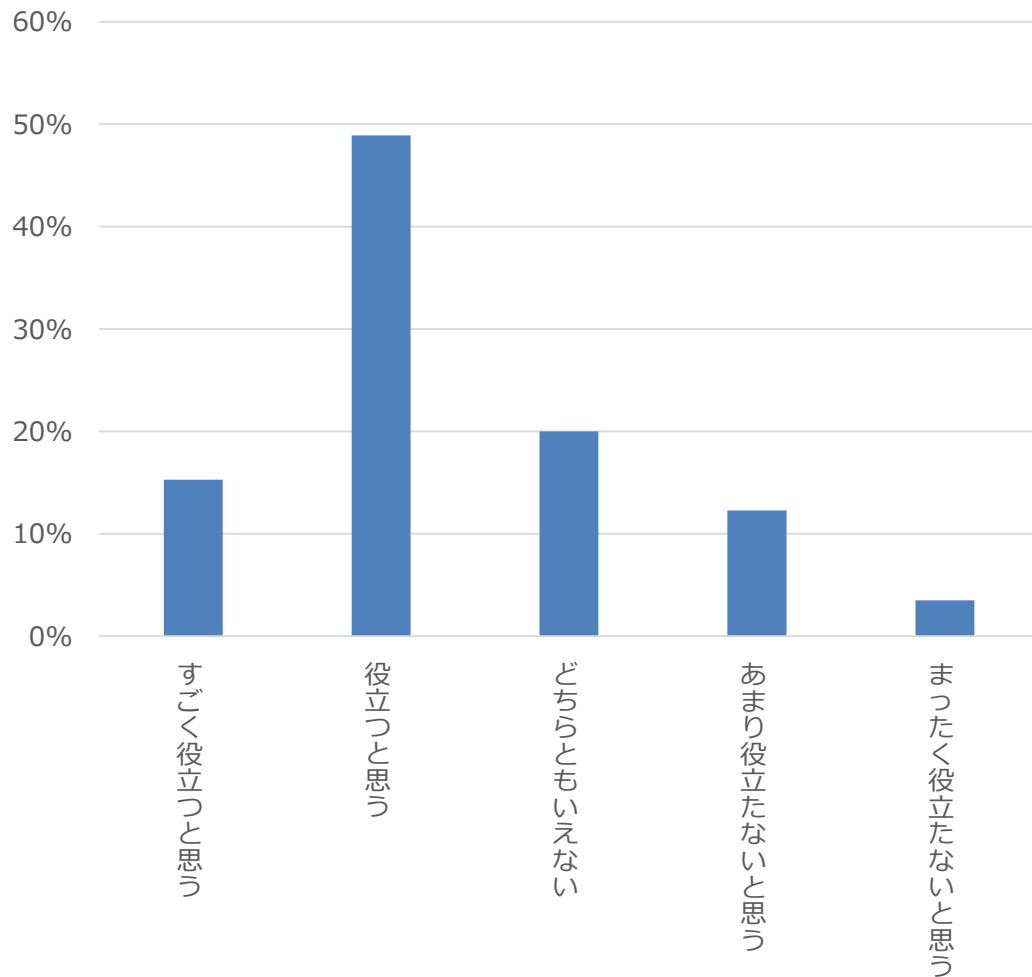
質問14: 学業に力を入れることは、社会に出てから重要だと思いますか？



回答の選択肢	回答数	
	割合	回答数
はい	72.4%	1550
どちらでもない	23.3%	498
いいえ	4.3%	93
合計		2141

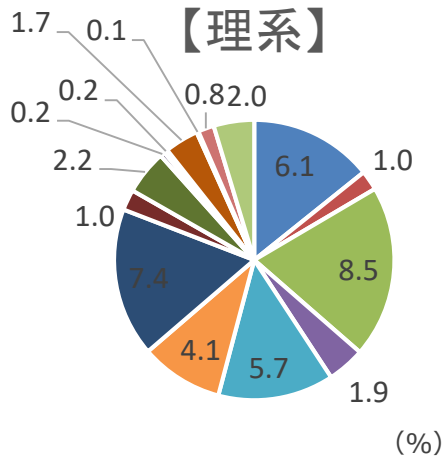


質問15: 学校で学んだことが、将来役立ちそうだと、いま感じていますか

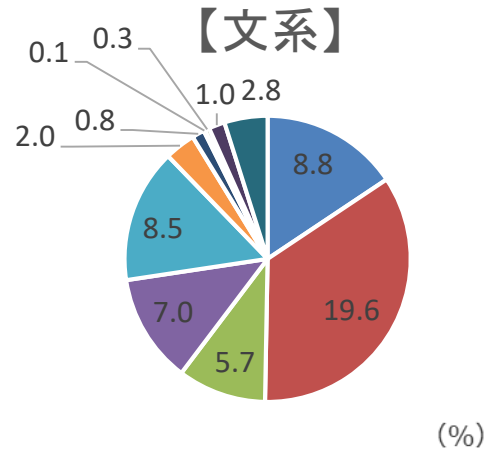


回答の選択肢	回答数	
すぐ役立つと思う	15.3%	328
役立つと思う	48.9%	1048
どちらともいえない	20.0%	428
あまり役立たないと思う	12.3%	263
まったく役立たないと思う	3.5%	74
合計		2141

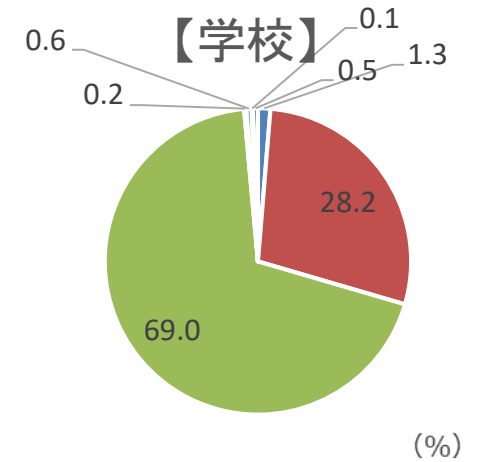
アンケート回答／学生区分



- 【理系】機械系
- 【理系】数学系
- 【理系】電気・電子・情報工学系
- 【理系】物理・応用物理学系
- 【理系】建築・土木系
- 【理系】生物・生命科学系
- 【理系】化学・物質工学系
- 【理系】資源・地球環境系
- 【理系】農業・農学系
- 【理系】水産系
- 【理系】畜産・酪農系
- 【理系】薬学系
- 【理系】商船系
- 【理系】医学・歯学系
- 【理系】その他理系



- 【文系】法学・政策系
- 【文系】経済・経営・商学系
- 【文系】社会・環境情報系
- 【文系】外国語・国際文化系
- 【文系】人文系
- 【文系】教育系
- 【文系】生活科学系
- 【文系】宗教・神学系
- 【文系】医療・保健系
- 【文系】体育・芸術・音楽系
- 【文系】その他文系



- 博士
- 修士
- 四年制大学
- 短期大学
- 高等専門学校
- 専門学校
- その他

調査まとめ

学生の多くは授業に8割以上出席し、学業へのウェイトもかなり高めな学生生活を送っており、その学生たちが採用時にもっと学業に注目してほしい、重視してほしい、と考えるのは自然な流れである。

ただ、「企業は学業を重視しない」という先入観を抱き、就職活動に臨んでいるため、サークルや部活など学業以外のことを自己PRのネタにする学生が多い。そしてその自己PRは懸命に練られ、盛りに盛られたものだったりもする。

企業側は僅かずつではあるが選考に学業に注目した採用選考をおこないつつある。学業を重視している企業に出会い、「聞いていた話と違う！」と、面接で失敗してしまった話もアンケートには複数記載されていた。

学生の学びへの意欲は決して失われているわけではない。「勉強する姿勢は社会に出てからも重要だと思う」という学生の声がある。「就職活動期間が実質長期化していることで、学業に割ける時間が減っていること」への不満もアンケートでは多くみられた。

「学びたい」という学生の意欲と過程を企業側も評価する。

「学業への取り組みを積極的に評価している」という採用スタンスを、学生に発信し、「就活では学業は重視されない」という学生の先入観を壊していくことが大事なのではないか。

なお、本調査は、2020年新卒新卒採用の選考終了時期にも実施し、公表していく。

【本調査に関するお問い合わせ先】
一般社団法人履修履歴活用コンソーシアム
運営事務局 事務局長（株式会社パフ） 保坂光江
電話03-5215-7807 FAX 03-5215-8222 e-mail info@risyu-katsu.jp



一般社団法人履修履歴活用コンソーシアムについて

**2017年7月1日設立の、全国各地域の就職・採用支援事業者で構成された団体です。
2018年6月1日に一般社団法人化いたしました。**

<設立趣旨>（ホームページ <http://risyu-katsu.jp/found/> より抜粋）

【学生の「学び」と、卒業後の「働く」をつなぐ架け橋として】

日本の新卒採用シーンでは、「学生がどのような考えや価値観に基づいて学業に取り組んできたのか」ということ（＝履修履歴）に対して興味を持たれることが、今までほとんどありませんでした。

それが結果として、「就活が始まると学生が授業に出なくなる」という現象につながり、「企業の採用活動は学業を阻害している」との批判を招く一因にもなっていました。

かかる状況を改善していくことを目的に、私たち就職・採用支援会社は共同で「履修履歴活用コンソーシアム」を設立いたしました。本コンソーシアムのサービスや活動を通じて、学生の「学ぶ意欲」が醸成され、社会で活躍するための基礎的なチカラを蓄えた人材が、大学をはじめとするすべての高等教育機関から多数輩出される世の中になることを願っております。

<役員>

代表理事：釘崎清秀（株式会社パフ 代表取締役社長）

理事：夏至正典（株式会社人材情報センター 代表取締役社長、ふるさと就職応援ネットワーク会長）

理事：新留正朗（株式会社ディスコ 代表取締役社長）

理事：林俊夫（株式会社マイナビ 就職情報事業本部 事業推進統括部 統括部長）

監事：落合誉（公認会計士、株式会社AGSコンサルティング事業部長）

【コンソーシアムに関するお問い合わせ先】

一般社団法人履修履歴活用コンソーシアム

運営事務局 事務局長（株式会社パフ）保坂光江

電話03-5215-7807 FAX 03-5215-8222 e-mail info@risyu-katsu.jp



【運営・提供】履修履歴活用コンソーシアム <http://risyu-katsu.jp/>

【お問い合わせ】info@risyu-katsu.jp